

令和3年度施政方針

1月22日に、令和3年第1回市議会定例会の冒頭、西岡真一郎市長が、施政方針演説を行いました。

その中で市長は、小金井市の未来と市政運営のために全力で取り組む決意を表明しました。

ここにその要旨をご紹介します。なお、全文は、企画

政策課でご覧いただけるほか、市ホームページで公開しています。

☎企画政策課企画政策係(市役所本庁舎2階☎042-387-9800)



1 はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響が世界規模で拡大する中、昨年4月には日本においても緊急事態宣言が発表され、私たちはおよそ7週間の外出自粛など、かつてない経験を経験することとなりました。感染症の影響は生命や健康だけでなく、経済、社会、人々の行動や意識・価値観の変容など多岐へとわたり、私たちの日常生活には大きな変化が生じています。

この間、多くの方々から、市民の皆様への命と健康を守り、感染拡大を防止していくために、寄附金・マスク、非接触式体温計を始めとするたくさんのご寄附・ご支援をいただいております。昨年12月に実施した本市初のクラウドファンディングにおきましても、感染症対策の最前線で日々戦っている医療関係者の皆様へのご支援として、約40人の方々から、目標金額の300万円を大きく超える約300万円もの寄附金をお寄せいただきました。皆様の温かいお気持ちや、コロナ禍を共に乗り越えたいという思いを感じ、大変心強く、深く感謝申し上げます。

館機能の早期回復は、これまで同様、本市の極めて重要な課題と捉え、実施設計を進めているところです。公共施設マネジメントにつきましては、公共施設等総合管理計画の改定に取り組み、計画的な施設の長寿命化や更新についての全体的な方向性を整理し、公共施設や資産の最適化をめざしてまいります。

持続可能な市政運営と市民サービス向上を実現していくために、市では長年にわたる行財政改革に取り組んでまいりました。この間、取り組みを重ねて財政効果は9・31億円、職員削減は36人の見込みとなっております。先行き不透明な時代において、本市の魅力を高め、住民福祉を持続的に増進することができる自治体経営の実現を目的として、引き続き取り組んでまいります。

令和元年度決算において経常収支比率、実質公債費比率、実質単年度収支等は改善されてきましたが、将来負担すべき負債を捉えた将来負担比率からは厳しい財政状況が明らかであり、財政規律を緩めることなく、市民から信頼される市政の実現に向けて、コンプライアンスの推進にも努めていかねばなりません。

まちのにぎわい創出につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえた産業振興プランの改定に取り組みむとともに、観光まちおこし協会を中心に、オープンスペースを活用した消費や交流の場の立ち上げなどウィズコロナの時代にも対応した取り組みを進めます。

本市におきましては、必要な支援を届け、市民生活を守ることを最優先と考え、新型コロナウイルス感染症対策として、4度にわたり緊急対応方針をお示しし、「いのちを守る」「くらしを守る」「地域を守る」「市民サービスの基盤を守る」ための取り組みを続けてまいりました。PCR検査センターの整備・運営に関する支援、売り上げが減少している市内事業者を対象とした事業継続支援など、先ずきが見えない中、目の前の課題に最善を尽くして取り組んできたところです。昨年12月には、市内の休日診療における感染リスクを低減するため、医師会と連携し、本市独自の発熱者検査センターを開設いたしました。

この間、多くの方々から、市民の皆様への命と健康を守り、感染拡大を防止していくために、寄附金・マスク、非接触式体温計を始めとするたくさんのご寄附・ご支援をいただいております。昨年12月に実施した本市初のクラウドファンディングにおきましても、感染症対策の最前線で日々戦っている医療関係者の皆様へのご支援として、約40人の方々から、目標金額の300万円を大きく超える約300万円もの寄附金をお寄せいただきました。皆様の温かいお気持ちや、コロナ禍を共に乗り越えたいという思いを感じ、大変心強く、深く感謝申し上げます。

本市の新たな最上位計画である第5次基本構想・前期基本計画につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえた計画とするため、本年10月策定を目的として検討期間を延長しました。10年後の将来、より住みやすく住み続けたいと思えるまちであることをめざし、市民のしあわせ増進のための計画づくりを丁寧かつ着実に進めてまいります。

本市の新たな最上位計画である第5次基本構想・前期基本計画につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえた計画とするため、本年10月策定を目的として検討期間を延長しました。10年後の将来、より住みやすく住み続けたいと思えるまちであることをめざし、市民のしあわせ増進のための計画づくりを丁寧かつ着実に進めてまいります。

武蔵小金井駅南口第2地区再開発事業による再開発ビルの完成を迎え、歩いて楽しいまちのにぎわいが、また一つ新たに生まれたところです。駅周辺のまちづくりにつきましては、東小金井駅北口土地地区面整理事業を着実に推進し、梶野公園など、みどりも一体となった魅力ある市街地環境の創出に向けて取り組まします。武蔵小金井駅北口では、再開発事業等によるまちづくりの検討が進められており、引き続き適切な支援を図ってまいります。

都市農業を取り巻く情勢が大きく変化する中、農業振興および農地保全施策を計画的に実行するため、新たな農業振興計画の策定を行います。令和4年4月には、(仮称)ぬくいみなみ第2市民農園の開園を予定しており、今後も、身近で農業に触れる機会の提供に努めてまいります。地域における安全・安心な暮らしについては、はじめに、市民の生命・財産を守るため、平常時・非常時を問わず地域に密着して活動いただいている消防団員の方々とそのご家族、関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。激甚化する台風や大雨、発生が想定されている多摩直下地震などの災害から命と財産を守るべく、自助・共助・公助による地域の災害対応力の底上げを図り、地域が命を守るまちをめざします。

2 令和3年度予算の概要と市政運営の基本政策

令和3年度予算の概要

本市の財政状況は、起債の抑制と基金の積み立てを積極的に進め、持続可能な財政運営の構築に努めてきた結果、

令和3年度予算の概要

令和3年度予算は、一般会計43億5千万円、前年度対比18億2千万円、4・2%の増、特別会計および公営企業会計を合わせた全会計では62億6千万円3千円、前年度対比22億5千万円2千円、3・4%の増となりました。

令和3年度予算の概要

みどり豊かな本市の魅力を将来世代に引き継いでいくため、環境基本計画やみどりの基本計画の取り組みを進めます。深刻化する地球温暖化や気候変動の進行に対しては、地球温暖化対策地域推進計画